

ホタルの生息環境づくりによる 地域の活性化

- 生物多様性保全機能 -

ほそごえ

細越 ホタルの里の会



「細越ホタルの里」全景

細越地区の農業用用水路は、ヘイケボタルとゲンジボタルが同時に生息する北限となっている。

本地域を「ホタルの里」と位置づけ、休耕田の復元やホタル繁殖水路の造成による生息環境づくりを地域ぐるみで実施している。



あomor
青森県青森市



地元保育園児によるホタルの幼虫の放流

【生物多様性の保全】

「細越ホタルの里の会」をはじめ、関係団体との連携によるホタルの保護活動により、ホタルの日最大飛翔数の推移は、毎年安定している。

【体験学習と教育】

地域の子供達が、ホタルの観察・保護・飼育活動や農作業の体験を行っており、自然や農村の大切さを学んでいる。

【地域社会の振興】

ホタルの保全活動が一般市民にも知れ渡るようになり、ホタルまつりに多数の人が訪れるようになった。

ホタルをキーワードに年齢階層、職種を越えた集落内での交流が活発になり、地域が賑やかになった。



水路・畦畔の清掃（年4回共同作業）



田んぼの学校で高校生による田植



ホタルまつり（整備された観察台）



暗闇に舞うホタル